


<執筆：同志社中学校 織田雪江>

1. 単元名（活動名） 日系アメリカ人の文化・歴史・市民権から学ぶ - 多様な人々が暮らすハワイから -		
2. 対象：中学生 2006年度 同志社中学校2年生（324名） 2007年度 同志社中学校1年生（192名）		
3. 教科領域との関連性：社会（地理的分野・歴史的分野・公民的分野）・選択社会		
4. 実施時期： 地理的分野アメリカ学習の単元のあと 地理的分野・歴史的分野のまとめの2年3学期		5. 総時数： 7時間から
6. 単元（活動）目標： ・ハワイを学習の導入とし、一つの地域を多様な視点から捉える目を養う。 ・人々の移動の背景や、それによって生まれるハイブリッドな文化の豊かさに気づく。 ・人種差別の背景を探り、人々の尊厳が守られる公正な社会をどのように築いていくのかを考える。 ・日系アメリカ人に対する戦後補償を知り、在日外国人の戦後補償や社会保障制度について再考する。		7. キーワード 日系アメリカ人 グローバル化 多文化化 移住 強制退去命令 強制収容所 多文化共生社会 市民権 人権
8. 単元について（教材観・単元設定の理由） 本単元は、今後ますますグローバル化と多文化化が進行していく社会の中で、私たちはどのような方法で、どんな社会をつくっていくのか、ハワイという多様な人々が共に暮らす社会から学ぶものである。教科領域としては、地理・歴史・公民的分野にわたって多様な学習活動が展開できる「選択社会」がふさわしい。 導入では、観光地として人気の高いハワイの旅行パンフレットを用いて、グループでコラージュを作成する。自分たちが持たされているハワイのイメージを確認し、本単元の学習後には、ハワイという地域のイメージが「切り売りされている」ことに気づくだろう。 では、実際そこにはどんな人々が生活を営んでいるのだろうか。ベントウやミックスプレートなど、食文化のハイブリッド化を通して、多様な人々が織り成す社会の豊かさに気づかせたい。中でも日系人のあゆみに注目し、初期の日系移民の背景を、図表の読み取りや紙芝居を通して知ることから始める。その後、人種差別や偏見の中でも農業や鉄道工夫などとして働くものの、真珠湾攻撃をきっかけに、強制退去命令が出され、強制収容所での生活を余儀なくされていった事実を知る。日系人が、アメリカ社会の中で差別と闘い、尊厳を回復し、市民としての権利を獲得してきた過程を知ることを通して、在日外国人をめぐる日本の制度についてもふりかえり、「多文化共生社会」について考えさせたい。 一方、ハワイをみる多面的な視点の事例として、先住民にとって移民の流入がもたらした意味や、ハワイの軍事基地の現状について紹介する。学習の最後には、最初に作成したコラージュとは異なる視点から、それぞれの生徒がコラージュを作成し、それらを発表し合うことを通して、地域をみる多面的・多角的な視点を獲得させたい。		
9. 展開計画・展開記録		
次/時	主な学習活動と学習者の意識	留意点 資料

<p>第1次 1・2 時</p>	<p>ハワイのイメージ ハワイはどんなイメージで広告されているのか。観光パンフレットを用いてコラージュを作成し、気づいたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青い海・青い空をイメージした作品 ・「地上の楽園ハワイが呼んでいる」というキャッチフレーズを中心にした作品 ・トロピカルなイメージを出した作品 ・癒しと食べ物をテーマにしてつくった作品 ・「ハワイは行ったことがないけど、イメージどおりなんだと思った」 	<p>4人1組のグループで、A2版用紙での作業が理想 観光パンフレット 多様な作品が作成されるが、共通したイメージがないかを問いかける。本単元の学習後には、ハワイのイメージが切り売りされていることに気づかせたい。</p>
<p>第2次 3時</p>	<p>「Bento」からハワイ社会を読む 各グループに配布した写真パネルを観察しながらワークシートを仕上げる。 完成したワークシートとハワイの民族構成を表すグラフを見比べる。</p>	<p>解説つき写真パネルと食品パッケージ 時間を限って、グループごとに写真パネルが全て見られるように留意する。 人々の移動によって生まれるハイブリディティな文化の豊かさに気づかせたい。</p>
<p>第3次 4時 5時 6時</p>	<p>日系アメリカ人の歴史 1. ベントウはいつどこからやってきた？ 日本からの移住者数・日系人の人口と、ハワイの産業の移り変わりを比較する。 紙芝居「ベントウからミックスプレートへ」をグループ内で読み聞かせし合い、日本人移住の背景をまとめる。</p> <p>2. 移民禁止時代って何？ ハワイから本土、ブラジルから日本への労働者呼び寄せの広告を考察する。 排日移民法前から強制収容開始（1942年）までのできごとをプリントで読む。 2つの異なる映像を用いて、以下の2つの立場でニュース原稿を仕上げ、強制退去命令の描かれ方を比較考察する。</p> <p>(ア) 日系アメリカ人 (イ) アメリカ政府広報担当者 ・(ア)ある日系アメリカ人の視点から</p> <p>速報です。日系アメリカ人の家に FBI 捜査官が入り、物を押収される事件が起きました。金目の物はすべて取られています。その上、開墾用のダイナマイトを持っているというだけで、その家の主人は逮捕されてしまいました。こんなことがあっていいのでしょうか。今、残された家族が政府の車で移動しています。手に持てるだけの荷物しか持てません。自分の今まで築きあげてきた財産をすべて手放す彼らはどういう思いで橋を渡っているのでしょうか。いたたまれない気持ちになります。</p> <p>・(イ)アメリカ政府広報担当者の視点から</p> <p>パールハーバーの奇襲は日本人のスパイの可能性が高いと軍は推測しています。なので、アメリカ政府は、軍事上の必要性から日系アメリカ人とその家族を戦時転住所（Relocation Center）に住んでもらうよう命令を出しました。この命令はアメリカの「民主主義」「自由」と合わないと思う人もいるでしょうが、違います。戦時転住所では民主主義があり自由です。予防注射や教育、食事も充実しています。仕事も素晴らしく、自治もあります。</p>	<p>中山京子・森茂岳雄作成 紙芝居「ベントウからミックスプレートへ」JICA 横浜 さとうきびプランテーションの農作業着 日本からの移住者数の時代区分に、移民禁止時代があることに注目させ、次回の授業につなぐ。 人々の移動は、送り出し側と受け入れ側の需要と供給によって生まれる普遍的なものであることに気づかせる。 強制退去命令のポスター、ナショナル・アーカイブスの写真 http://arcweb.archives.gov/arc/digital_detail_summary.jsp?&tn=536004&nw=y&rn=2&nh=34&st=b&rp=summary&si=0 (ア)DVD「ヒマラヤ杉に降る雪」(12分) Universal Studios 配給。 (イ) <i>Japanese Relocation</i> (10分) Produce by Office of War Information http://www.archive.org/details/Japanese1943</p> <p>後者が英語のみの映像なので、両者ともあらかじめ骨子を示す。</p>

<p>第4次 7時と 課題</p>	<p>・2つのDVDを見終えて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(イ)は、キレイな音楽を流したり、わざと笑顔で撮ったりしていた。それだけで楽しそうに見えた。 ・アメリカ政府の言うことと、事実が異なっていたことにとっても驚きました。しかしこれは第2次世界大戦中の日本政府も同じようだったのではないのでしょうか。 ・「情報」の伝え方によって、良い情報になったり、悪い情報になったりすることを知り、恐ろしく思いました。 ・本当のことを伝えようとするアメリカ人がもっとたくさんいて、アメリカ国民に本当のことが伝わっていたら、もっと強制退去に反対する人も出てきたかもしれない。 <p>3. アメリカ市民のひとりとして 日系人補償法(1988年)が制定されるまでのできごとをプリントで読み合わせる。 在日外国人に対する戦後補償と社会保障の資料を用いて日本社会をふりかえる。</p> <p>オルタナティブなハワイのイメージ 多面的な視点からコラージュを作成する。 コラージュの事例の紹介 例 ハワイの軍事基地と軍事産業</p> 	<p>日本とアメリカの国籍取得の違いを説明しておく。さらに国際人権条約の批准により、内外人平等が実現し、国籍による排除が許されないことも認識させたい。</p> <p>授業では紹介できなかった視点も提示し、第1次で作成したコラージュとは異なる新しい視点が生まれるよう支援する。</p>
<p>10. 評価：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとつの地域をとらえる多面的な視点を獲得できたか。 ・人々の移動の背景や、ハイブリッドな文化の豊かさに気づくことができたか。 ・多様な情報を読み解く視点と、人々の尊厳が守られる公正な社会の大切さに気づくことができたか。 ・日系アメリカ人をめぐる法制度の変化を知り、在日外国人の市民権についてふりかえることができたか。 		
<p>11. 苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル教材の資料集めと作成 ・ワークシートの作成 ・米政府の作成した戦時中の広報ビデオを英語が理解できない生徒にも教材として生かす方法 	<p>12. 改善するとしたら</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多面的な視点からハワイのコラージュを作成するために、調べ学習が教材や、素材となりうるビジュアルな資料を多数取り揃える。 	
<p>13. 授業づくりのための参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飯田耕二郎『ハワイ日系人の歴史地理』ナカニシヤ出版、2003年 ・ 海外移住資料館企画・編集『海外移住資料館展示案内』JICA 横浜、2004年 ・ 国立民族学博物館監修『季刊民族学 97 特集 ハワイ 多民族社会の光と影』千里文化財団、2001年 ・ 庄司博史編『多みんぞくニホン - 在日外国人の暮らし - 』国立民族学博物館、2004年 ・ 田中宏編『在日コリアン権利宣言』岩波ブックレット NO.566、2002年 ・ 田中宏・李洙任『グローバル時代の日本社会と国籍』明石書店、2007年 ・ 矢口祐人『ハワイの歴史と文化』中公新書、2002年 		

14. 学びの軌跡（レポート、作品）

第3次1を終えて

- ・ミックスプレートはきずなの象徴だと感じます。ごはんを食べている時は、人間は人種や文化なんて簡単に越えられるということです。
- ・ハワイで何気なく食べていたミックスプレートは、なぜこんなにごちゃごちゃなんだろうと思っていたけど、わけがわかった。人々の交流がこんな文化を生み出すのはすごいと思った。
- ・ミックスプレートなど、違う文化をもった人々が共に暮らすことで新しい豊かな文化が生まれることを知りました。ハワイだけでなく他の地域ではどうなんだろうとおもしろく思います。

第3次2を終えて

- ・なぜ働くために希望に満ちて出向いた彼らがこのような仕打ちをうけるのか。
- ・ハワイ（アメリカ）に仕事をしにやって来た人たちが、大変な生活をしたり、法律によって理不尽なめにあったりしたという歴史があることを知りました。ハワイ（アメリカ）に日本にいた時よりも、いい生活を送ろうと希望をもって来た人たちがそんな目にあってつらかったらと思うました。

第3次3を終えて

- ・日本は在日外国人に対する処遇が悪すぎる。もう少し考え直すべきだ。
- ・税金はみんなからとっているのに、日本国籍がないから福祉や補償を受けられないという不公平なことがあるなんて考えられない。
- ・政府に対して、あきらめずに補償を求めた日本人たち、その思いをしっかりと覚えていかないといけないと思いました。今の日本は、在日コリアンや在日ブラジル人などにやさしい社会だとは言えません。ハワイの日本人たちのような思いをさせないためにも、どんな人にも優しい社会をつくって行かなければならないと思いました。
- ・結局、補償されたのはお金だけで、まだ政府によってふりまわされた人々の心の傷は癒されていないんじゃないかなと思った。

第1次でのコラージュの作成



第4次でのコラージュの作成



- ・初め、ハワイは旅行の定番の楽しそうで行ってみたいところというイメージでした。だが、それは一つの面であり、もっといろいろな面があることを知りました。
- ・今回授業を受けていくうちに、自分の中で「もう一つのハワイ」が生まれた。
- ・日系人がアメリカで迫害され、強制的に収容させられていたことは知らなかった。正直ショックだった。いくら戦争中とはいえ、許せなかった。
- ・とてもショックを受けたけど、そんな過去があったからこそ今のハワイがある。

15. 備考（授業者による自由記述）

- ・パールハーバーワークショップでは、オソリオ先生がハワイ語の歌を弾き語りながらハワイ人にとってのパールハーバーの意味を語り、ムカイ先生が自分の家族の歴史を織り交ぜながら日系アメリカ人の歴史を語り、さらに442部隊に所属した日系アメリカ人のイチヤマさん、退役軍人の男性、民間のアメリカ人女性の語りが続く。参加者が、真珠湾攻撃について、多様な視点から捉えられるようアプローチしていた。これを、地域や歴史を見る目を養うことに生かしていきたいと考えた。
- ・パールハーバーのフィールドトリップでは、当時の攻撃地点の弾丸の後などが生々しく残る上に、今も戦争を遂行する現役の米軍基地として使用されていることを実感することになり、それを第4次のオルタナティブなハワイの例示に使用した。
- ・ハワイを多様な視点から捉える時、先住民へのまなざしを忘れないで欲しいが、今回は生徒にとって身近な話となるよう日系アメリカ人に焦点をあてた。そして最後には、自分の足元の社会をみつめるというところに授業を展開していった。